

財團法人日本語教育振興會

沿革及事業概要

本館用

財團法人日本語教育振興會

沿革及事業概要

(昭和十九年七月一日現在)

一、沿革

昭和十六年八月二十五日興亞院及文部省の意を承け、大東亞圏に日本語を普及し、日本語教育の振興を圖るための諸事業の一元的組織的發展を期する目的の下に本會の創設を見同年十月二日附財團法人東亞同文會より九月二十日現在を以て同會に於ける支那向け日本語教科書の刊行及頒布に關する事業並に右事業關係の財産及權利義務の一切を繼承せり。同年十月六日財團法人日語文化協會より九月二十日現在を以て同會に於ける支那人に對する日本語の普及並に日本語教育振興に關する事業並に右事業關係の財産及權利義務の一切を繼承せり。昭和十八年七月九日更に大東亞省及文部省の指令により南方諸地域の日本語普及並に日本語教育振興の事業を行ふこととなれり。昭和十八年三月二十二日大東

亞大臣より財團法人日本語教育振興會設立の件認可せられたり。

二

二、事業

一、調査及研究

- 日支標準音の實驗音聲學的研究
- 日蒙標準音の實驗音聲學的研究
- 誤り易き語音語法の地域別調査
- 初學年の教授法
- 中級の教授法
- 聽方及話方の教授法
- 讀方及綴方の教授法
- 留學生の日本語指導法
- 「て」をはの研究
- 意義上より見たる日支漢字の研究

○慣用音讀癖の研究

○語彙調査

兒童語彙 (十五萬語)

成人語彙 (百萬語)

○日本語學習辭典の編纂

○日華辭典の編纂

○日泰學習辭典の編纂

○日本語普及問題調査委員會

二、日本語教科用圖書

- (1) 文部省著作支那向日本語教科用圖書
 - ハナシコトバ上
 - ハナシコトバ中
 - ハナシコトバ下

- ハナシコトバ學習指導書上
- ハナシコトバ學習指導書中
- ハナシコトバ學習指導書下
- 日本語讀本卷一
- 同 卷二
- 同 卷三
- 同 卷四
- 同 卷五
- 日本語讀本學習指導書卷一
- 同 卷二
- 同 卷三
- 日本文化讀本大學の學生生活
- 同 「さくら」
- 同 「日本の年中行事」

- 同 「日本の紡織」
- 同 「日本の女性」
- (2) 文部省著作南方向日本語教科用圖書
- 初等學校用日本語教本卷一
- 同 卷二
- 同 卷三
- 同 學習指導書卷一
- 同 卷二
- 同 卷三
- 中等學校用日本語教本卷一
- 同 卷二
- 同 卷三
- 同 學習指導書卷一
- 同 卷二

○同 卷三

○成人用速成日本語教本卷上

○同 卷下

○同 學習指導書卷上

○同 卷下

○日本文法教本 全

三、日本語教育資料

(1) 文部省著作ノモノ

○學習日本語(マライ、フィリピン、ジャワ、ビルマ各篇)

○標準漢字便覽

○文部省制定發音符號

(2) 大東亞省ノ指令ニヨルモノ

○支那學童用繪本

オホゾラ

ガクカウ

ヨイコドモタチ

ハナ、ヤサイ、グダモノ

コドモノセカイ

ニツボンノタテモノ

フリモノ

ドウブツ

○ハナシコトバ教授用掛圖

○大東亞地圖

(3) 情報局編纂ノモノ

○ニツボンゴ(六種類)

(4) 本會編纂ノモノ

○日本語教授法の原理

○現代語法の諸問題

○敬語法概説

○日本語選書

- 1 日本語教科書論
- 2 中華民國教育事情
- 3 中國人に對する日本語教育
- 4 文化工作としての日本語
- 5 國語の構造
- 6 國語の歴史
- 7 國語の表記
- 8 國語教育と日本語教育

四、日本語教員之養成及指導

第一回 日本語教育講座(昭和十七年一月)

第二回 日本語教育講座(昭和十七年七月)

第三回 日本語教育講座(昭和十八年六月)

支那派遣教員練成

第六回 (昭和十七年五月) 於浴恩館

第七回 (昭和十七年九月) 於東亞報德會

第八回 (昭和十七年十月) 於東亞報德會

第九回 (昭和十八年四月) 於仙川道場

第十回 (昭和十九年二月) 於仙川道場

第十一回 (昭和十九年九月) 於本會講堂及教室

五、日本語ノ普及並ニ日本語教育ノ振興ニ關スル各種會合

日本語教授者懇談會

日本語普及問題講演會

第一回 (昭和十八年二月) 於京都

第二回 (昭和十八年十月 於東京)
第三回 (昭和十八年十月 於仙臺)

六、雜誌ノ發行

機關誌日本語 (毎月一回發行)

七、諸團體トノ連絡協力

南方派遣日本語教育要員養成所トノ協力

國際學友會ニ日本語教師ヲ派遣

日本語教授研究會ニ協力

タイ向放送ニ用フル資料作成

東京都協和會及中央協和會ニ對スル協力

大日本佛教會支那布教師練成會ニ講師派遣

